

# 新庁舎での業務が始まりました。



Photo1 正面入口から2階へ上がる階段。2コミュニティラウンジと多目的スペース3オープンフロアで開かれた窓口。4東館の市独自構造である耐力壁。5議場は円形の作りになっています。6本館と東館の間には、せせらぎ水路やベンチを設置し憩いの場となっています。

平成28年4月から行っていた新庁舎の建設工事が終了。8月14日に仮開庁し、業務が始まりました。今月号では、新庁舎の特徴や各フロアなどについて紹介します。

## 本館と東館の2棟 延べ床面積は7004㎡

新庁舎は、本館と東館の2棟に分かれています。本館には主に行政機能、東館には議会と福祉関係などが入っています(フロア図は、6〜7ページを参照ください)。本館は、鉄骨鉄筋コンクリート造の4階建てで床面積は5010㎡、東館は木造3階建てで床面積は、1994㎡です。

## 部署の配置や交流の場で より利用しやすい庁舎に

今回の庁舎では、行政手続きをスムーズに行えるよ

## 市産木材をふだんに 木の香りあふれる庁舎

新庁舎には、スギやヒノキ、モミなど市産木材を8080本使用。東館は木造3階建てで床面積は、1994㎡です。

東館も市独自の木組みを導入し、同等の設計強度となっています。

今後、9月から11月にかけて旧庁舎を解体、11月から平成30年2月までに駐車場など外溝を整備し、新庁舎建設事業が完了となります。新庁舎のグランドオープンは、3月24日(土曜)を予定しています。

## 震度7強が発生しても 業務を行える耐震強度

また、本館は、防災拠点としての機能を有しており、耐震構造は、基準の1.5倍。具体的には、震度7強の地震が発生しても、業務を行うことができる設計強度です。

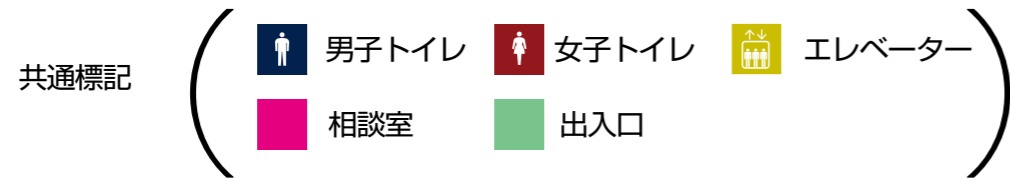
## 平成30年3月24日(土曜) グランドオープン

また、本館は、防災拠点としての機能を有しており、耐震構造は、基準の1.5倍。具体的には、震度7強の地震が発生しても、業務を行うことができる設計強度です。

今後、9月から11月にかけて旧庁舎を解体、11月から平成30年2月までに駐車場など外溝を整備し、新庁舎建設事業が完了となります。新庁舎のグランドオープンは、3月24日(土曜)を予定しています。

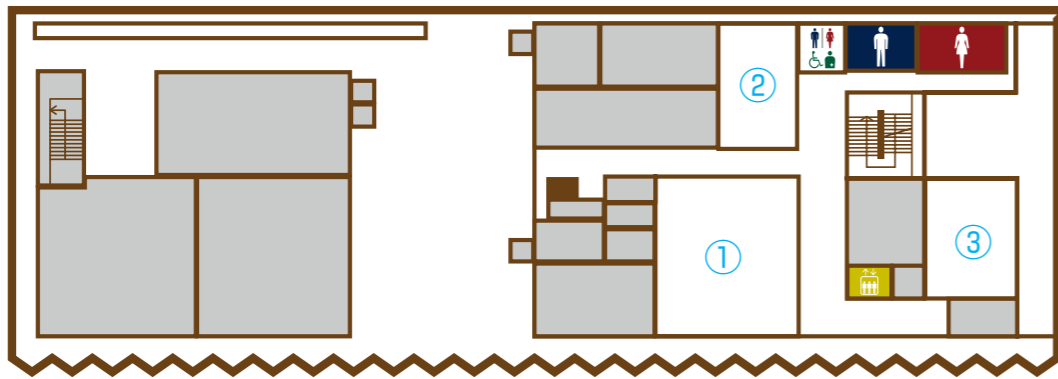
### ◆新庁舎完成までの主な経緯

月日	内容
平成18年3月	旧小林市・須木村合併(新市誕生)
平成19年6月	新庁舎庁内検討委員会設置
平成22年3月	小林市・野尻町合併
平成24年5月	新庁舎建設基本構想策定
平成25年7月	新庁舎建設基本計画策定
平成27年3月	新庁舎建設基本設計策定
平成27年11月	新庁舎建設実施設計策定
平成28年3月	本館・東館工事請負契約締結
平成29年8月	新庁舎仮開庁



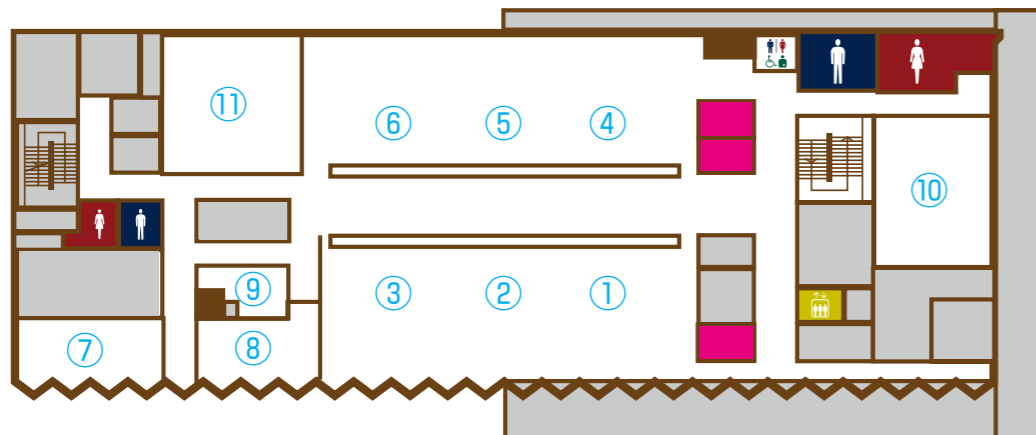
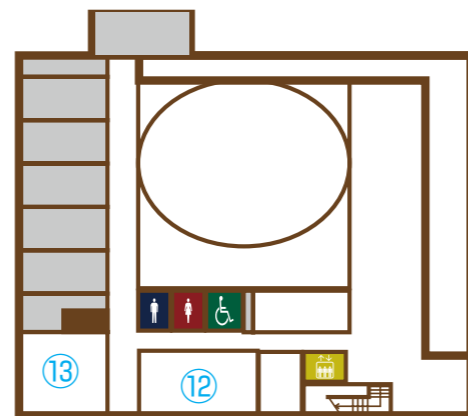
4階（本館のみ）

- ①学校教育課
- ②企画政策課（情報）
- ③監査委員事務局



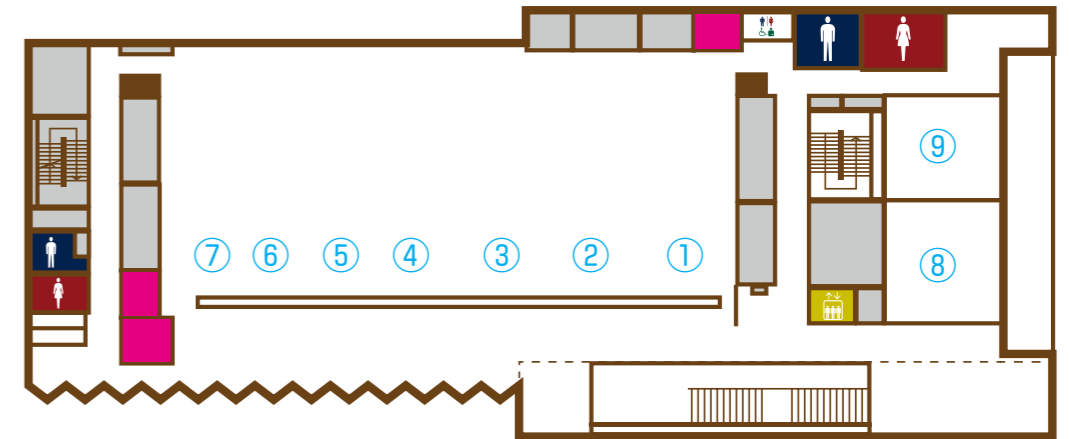
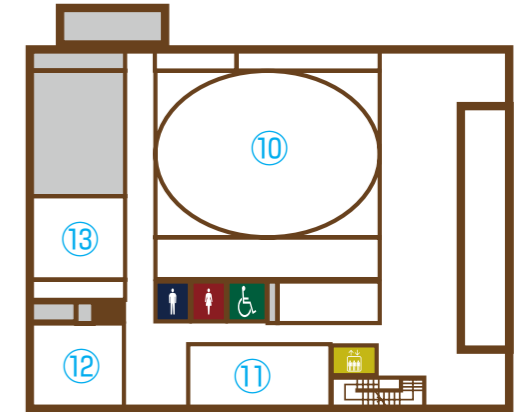
3階（上：東館、下：本館）

- ①総務課
- ②財政課
- ③企画政策課
- ④管財課
- ⑤地方創生課
- ⑥危機管理課
- ⑦市長室
- ⑧副市長室
- ⑨秘書室
- ⑩会議室 3
- ⑪防災対策室
- ⑫委員会室 2
- ⑬委員会室 3



2階（上：東館、下：本館）

- ①商工観光課
- ②畜産課
- ③農業振興課
- ④建設課
- ⑤税務課（地籍）
- ⑥生活環境課
- ⑦農業委員会事務局
- ⑧会議室 1
- ⑨会議室 2
- ⑩議場
- ⑪議会事務局
- ⑫議長・副議長室
- ⑬委員会室 1



1階（上：東館、下：本館）

- ①市民課
- ②ほけん課
- ③税務課
- ④会計課
- ⑤子育て支援課
- ⑥総合案内
- ⑦コミュニティラウンジ
- ⑧多目的スペース
- ⑨福祉課
- ⑩長寿介護課
- ⑪選挙管理委員会
- ⑫会議室 4

